

びを申し上げます。町民の皆様には、平素から町政運営の各般にわたり、深い御理解と御協力、並びに御支援を賜り、誠にありがとうございます。年頭に当たり、一言ごあいさつを申し上げます。

昨年8月3日、本県では初となる線状降水帯が津軽地方で発生し、本町では一時間当たりの雨量が91・5ミリに達し、更に、8月9日から10日にかけての24時間雨量が325ミリといずれも観測史上最大の降水量を記録しました。幸いなことに人的被害はなかつたものの、町内いたる箇所で国道や町道の冠水や陥没、農地や農業用施設の被災が確認されたほか、家屋の倒壊や床上・床下浸水の被害が発生し、改めて自然の猛威への無力さを痛感いたしました。

大雨の被害に遭われた皆さまへ心よりお見舞い申し上げますとともに、災害の復旧・復興にあたつては、町内外の多くの企業や自治体、個人の方から温かい御支援・御尽力を賜り心から感謝を申し上げます。

長引く新型コロナウイルス感染症は、いまだに終息とはいわず、依然、予断を許さない状況が続いておりますが、国では、新たな行動制限は行わず、感染拡大防止と社会経済活動の両立を図る方針が

示され完全にウイルスコロナの体制に移行したようと思われます。本町におきましても、国や県の対処方針等に基づき、社会経済活動との両立に向け、ワクチンの接種や感染予防対策を継続しつつ、タイミングを見極めながら、各種事業やイベント等を実施してまいります。

さて、我が国の経済は、ウイズコロナが進展するなかで、国内旅行支援策や水際対策の緩和なども後押しとなり、国内需要を中心には景気は緩やかに持ち直しの動きがみられる状況にあると言われているものの、国際的な原材料費の高騰に原油高や円安が加わったコスト上昇型のインフレの影響などで我々の日常生活に密接なエネルギー価格や様々な商品の値上げも止まらない事態となつており、日本経済を取り巻く環境は厳しさを増しています。

政府では、「物価高騰・賃上げへの取組」「円安を活かした地域の稼ぐ力の回復・強化」「新しい資本主義の加速」「国民の安全・安心の確保」の4つを柱とする総合的な経済対策に取り組むとしていますので、本町といたしましても、国の総合経済対策の動向等も見極めながら引き続き必要な施策を実施してまいります。

本町の財政状況は、令和3年度一般会計決算において、新型コロナウイルス感染症への対応経費な

とにより過去10年間で最大規模となつた令和2年度決算に比較して減少しており、また、実質収支は、14年連続の黒字決算となつたところであります。歳入では、自主財源の伸びが見込めないなか、歳出では、災害復旧への対応をはじめ、新型コロナウイルス感染症拡大への対応と地域経済の活性化対策のほか、社会保障関係経費及び公共施設の整備・維持管理経費の増加、さらに、一般廃棄物処理施設や屎処理施設の老朽化への対応、広域農道及び追良瀬地区の道路移管に伴う財政負担の増が懸念されており、今後も厳しい状況が続くものと予想されることから、事業の必要性・緊急性・優先度などを見極め、限られた財源の中で重点的かつ効率的な配分を図りながら財政運営健全化への取組を強化してまいります。

まいります。平成30年度から準備を進めてきた深浦中学校と岩崎中学校の統合は、昨年3月をもつて岩崎中学校が閉校となり、4月から深浦中学校が2校の統合校として、新たにスタートを切つております。

一方で、昨年11月に木造高等学校深浦校舎の閉校記念式典が挙行され、本年3月末をもつて、70余年の歴史に幕を閉じることとなりますが、同校の雄姿は、多くの卒業生や関係者の方々の胸に深く刻まれ、脈々と生き続けるとともに、その輝かしい歴史とこれまで築き上げられた伝統は、これからも語り継がれていくことと存じます。

最後に、被災から5か月余りが経過した現在においても災害の爪痕は残つており、完全な復旧にはまだまだ時間がかかるものと考えておりますので、「災害からの復旧・復興」を本町の最優先課題として掲げ、県や関係機関の協力を得ながら、全力で取り組んでまいります。

また、今回の災害の経験を十分に生かし、地域の更なる安心・安全の確保に努めてまいりますのでなお一層の御支援・御協力をお願ひ申し上げる次第であります。

結びに当たり、本年が皆様にとりまして、素晴らしい一年となりますことをお祈り申し上げ年頭のあいさついたします。



令和五年 新春のごあいさつ



深浦町長 吉田 満

まいります。平成30年度から準備を進めてきた深浦中学校と岩崎中学校の統合は、昨年3月をもつて岩崎中学校が閉校となり、4月から深浦中学校が2校の統合校として、新たにスタートを切つております。

一方で、昨年11月に木造高等学校深浦校舎の閉校記念式典が挙行され、本年3月末をもつて、70余年の歴史に幕を閉じることとなりますが、同校の雄姿は、多くの卒業生や関係者の方々の胸に深く刻まれ、脈々と生き続けるとともに、その輝かしい歴史とこれまで築き上げられた伝統は、これからも語り継がれていくことと存じます。

最後に、被災から5か月余りが経過した現在においても災害の爪痕は残つており、完全な復旧にはまだまだ時間がかかるものと考えておりますので、「災害からの復旧・復興」を本町の最優先課題として掲げ、県や関係機関の協力を得ながら、全力で取り組んでまいります。

また、今回の災害の経験を十分に生かし、地域の更なる安心・安全の確保に努めてまいりますのでなお一層の御支援・御協力をお願ひ申し上げる次第であります。

結びに当たり、本年が皆様にとりまして、素晴らしい一年となりますことをお祈り申し上げ年頭のあいさついたします。

令和五年
新春のごあいさつ

深浦町長
吉田 満